

カーリング体験 してみませんか?

- 気軽に体験コース (1時間)**
とにかくストーンを投げてみたい方
- カーリング入門コース (2時間)**
基礎からミニゲームまで体験したい方
- 本格的体験コース (3時間)**
知識と技術も体験したい方

ご家族連れや学校・会社の研修・職場のレクリエーションにご利用下さい!

	10人の場合(1シート:指導員1人)	20人の場合(2シート:指導員2人)
シート利用料	1,800円 × 2時間 = 3,600円	1,800円 × 2時間 × 2シート = 7,200円
用具利用料	120円 × 10人 = 1,200円	120円 × 20人 = 2,400円
指導料	2,000円 × 2時間 = 4,000円	2,000円 × 2時間 × 2人 = 8,000円
合計	8,800円	17,600円

※北見市内の方はシート利用料(1シート)がお安くなります。
※レンタルシューズは同じサイズで多数の際、ご用意出来ない可能性があるため、上履きの持参をお願いする場合がございます。

カーリングの服装と用具

ケガ防止のための必須アイテムです

カーリングブラシ、運動靴、スライダースは有料でお貸します。防寒着の有料レンタルもあります。

室温 7~8℃

ヘルメット
無料でお貸します。

手袋

ウィンドブレーカー
暖かく動きやすい上着

ズボン
膝の曲げ伸ばしがしやすいズボン

運動靴
屋内用
※運動靴には体育館等で使う上履きで、靴底に汚れがないものをご用意ください。

※半袖、半ズボン、レギンス等ではケガ防止とアイス保持のため、プレーできません。

ACCESS

飛行機でのアクセス
新千歳空港⇄女満別空港(約50分)
羽田空港⇄女満別空港(約1時間45分)

車でのアクセス
女満別空港⇄常呂...35km(約42分)
網走⇄常呂...33km(約40分)
北見市内⇄常呂...43km(約50分)

利用料 (1シート1時間あたり)

区分	一般	高校・大学生	中学生以下	備考
市内	1,200円	600円	240円	・ブラシ、靴およびスライダー(1セット)120円 ・防寒着(上下)1組 400円 ・1回券(回数券は1利用券片)で平日の10:00~18:00は、1シート料金で2時間まで利用できます。
市外	1,800円	840円	360円	
回数券	10枚、20枚、30枚綴り(1年間有効)			
会議室	1時間 220円			冷暖房料金(1時間)
	会議室 1	暖房 40円	冷房 10円	
	会議室 2	暖房 140円	冷房 30円	
	会議室 3	暖房 70円	冷房 30円	

※学生の方は学生証などの身分を証明できるものをご提示下さい。

開館・休館 開館時間...平日・土曜日/AM10:00~PM10:00
日曜・祝日/AM10:00~PM 5:00
休館日/毎週月曜日・年末年始(12/31~1/5)
※アイスメンテナンスのため、休館する場合があります。

ADVICS TOKORO CURLING HALL

(指定管理者 常呂カーリング倶楽部)

〒093-0213 北海道北見市常呂町字土佐2-2
TEL 0152-54-1099 FAX 0152-67-4781

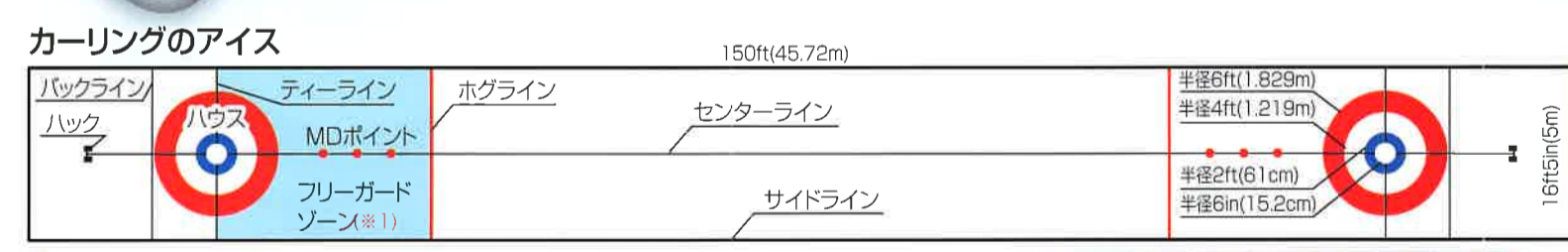


アドヴィックス 常呂カーリングホール

Curling

最後の一投まで勝敗がわからない 氷上のチェスと言われる「カーリング」。
確かなテクニックと作戦、そして体力。その一投、一投に駆け引きと意味がある。

頭脳と技術が白熱する
氷上のチェス



(※1) フリーガードゾーン: ホグラインとティエラインの間のハウスを除いた領域でどのエンドにおいても、はじめの4つのストーンのプレーが終わって静止するまでは、このフリーガードゾーン内に置かれているストーンは相手チームは取り除けません。

1F エントランスホール

2F 交流サロン

1F カーリングホール

カーリングの起源は諸説ありますが、15世紀にスコットランドで発祥したとされ、凍った湖や川の氷上で石を投げ合って遊んだのが始まりと考えられています。

日本では、1937年(昭和12年)に長野県諏訪湖周辺で行われたようですが、普及には至りませんでした。1977年(昭和52年)に北海道がカナダ・アルバータ州との姉妹州提携を機に文化交流の一環としてカーリングが紹介され、今日の普及につながりました。

北見市においては、旧常呂町が1988年(昭和63年)1月に日本初の5シートの屋内専用カーリングホールを建設し、以後、選手の育成を図り、1998年(平成10年)長野オリンピックから5大会連続で延べ18名の日本代表選手を輩出しています。

このカーリングホールは、施設の断熱不足や機械設備の老朽化等により、建て直されることとなり、2013年(平成25年)11月に国内最大の6シートを備えた、通年型の新カーリングホールが建設されました。

新カーリングホールはネーミングライツにより、「アドヴィックス常呂カーリングホール」の名称で、最高のアイスコンディションを保ち、選手の高度な作戦やレベルの高い技術により、見るものを魅了する試合を楽しめる施設として、これから新たな歴史を築いていきます。